

ダイオキシン類毒性等価量調査結果

○試料採取年月日、調査方法

平成17年度	平成17年8月30日・31日	調査委託により実施
平成18年度	平成18年7月19日・20日	調査委託により実施
平成19年度	平成19年7月19日・20日	調査委託により実施

○十和田ごみ焼却施設

(単位;ngTEQ/m³N)

施設・調査項目		基準値	平成17年度	平成18年度	平成19年度
排ガス	1号炉	5	0.042	0.018	0.0053
	2号炉	5	0.060	0.022	0.0015
飛灰	1号炉	3	0.33	0.023	0.17
	2号炉	3	0.19	0.10	0.097
焼却灰	1号炉	3	0.0000025	0.000007	0.0036
	2号炉	3	0.0000031	0.0024	0.0086
処理灰		3	0	0300044	0300044

○十和田ごみ焼却施設 周辺土壌 (サンプルは周辺800m前後、下図参照)

施設・調査項目	基準値	17年度	18年度	19年度
サンプル数 10箇所	1000	0.014~100	0.061~22	0.038~21

○最終処分場

(単位;pgTEQ/L ※土壌以外)

施設・調査項目		基準値	17年度	18年度	19年度
十和田	放流水	10	0.26	0.16	0.002
	地下水 上流側	1	0.036	0.041	0.059
	地下水 下流側	1	0.81	0.28	0.91
	土壌(※ pgTEQ/L)	1000	150	350	360
五戸第一	侵出水	10	0.067	0.0062	0.063
	地下水 上流側	1	0.07	0.043	0.061
	地下水 下流側	1	0.073	0.048	0.061
五戸第二	放流水	10	0.26	0.0018	0.00095
	地下水	1	0.13	0.13	0.066

★単位について

ng (ナノグラム) 10億分の1グラム

pg (ピコグラム) 1兆分の1グラム

TEQ (テトラクロロダイオキシン) ダイオキシン毒性の基準(毒性等価量)

★(図)十和田ごみ焼却施設 周辺土壌 サンプル採取地点

